

## 令和5年度（2023年度）第2回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日 時	令和5年（2023年）9月9日（土） 9：30～12：00
場 所	南大沢中学校 3階 家庭科室
出席者	参加者：飯田、磯田、加笠、柿島、木村、久保田、高津、田中（茂）、廣瀬、廣田、福澤、吉村 見学者：竹田、田中（義） 由木地域事務所：滝口、安齋 松が谷児童館：山田 中郷児童館：和田 高齢者あんしん相談センター南大沢：青山 はちまるサポート由木：土屋 第一層生活支援コーディネーター：今泉 経営計画課地域づくり担当：新納、橋本、田中 エックス都市研究所：田中、小市、松本、伊藤
配布資料	第2回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料 資料1 南大沢中学校区地域づくりワークショップの意見まとめ 資料2 南大沢中学校区地域づくりワークショップ 主な意見と推進計画への反映の方向性（案） 資料3 推進会議の体制（案）とモデル地区での検討状況 資料4 プロジェクトPRシートを作成しよう（記載例） 令和5年度（2023年度）南大沢中学校区地域づくりワークショップアンケート集計結果 令和5年度（2023年度）第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議議事概要

### 1 開会

経営計画課地域づくり担当より挨拶。

- ・今回見学者として、南大沢中学校区地域ワークショップ参加者の竹田氏と田中氏が参加する。

### 2 市からのお知らせ

会議資料を基に市から地域づくりフォーラム、地域づくり推進基本方針改定に向けた懇談会の設置について説明。地域づくりフォーラム及び懇談会に参加した飯田氏及び吉村氏から感想などを共有

（市からの説明内容）

- ・8月20日（日）に東京たま未来メッセにて「つながりが未来をデザインする、八王子の地域づくり」をテーマに地域づくりフォーラムを開催した。当日は大学の先生、民間の方による基調講演、モデル地区である川口中学校区と長房中学校区の取組事例発表を行うほか、地域づくりに何が必要かについて市長を含めたパネルディスカッションを行った。また、意見交換会として推進会議の推薦母体である町会、自治会、住民協議会、学校関連の方など、17の地域団体の方に参加いただき、ポスターセッション形式で活動紹介をしていただいた。パネルディスカッションには、南大沢中学校区地域づくり推進会議を代表して吉村氏、意見交換会には南大沢市民センター住民協議会の代表として飯田氏に参加いただいた。
- そのほか、都立大学の杉澤ゼミの学生が南大沢の街歩きや推進会議に関する市との意見交換、ワークショップへの参加をもとに、学生目線でまちや推進会議に対する考えをポスターにまとめてくれた。本日も掲示しているので、見てもらえればと思う。
- ・令和2年（2020年）3月に「地域づくり推進基本方針」を策定し、南大沢をはじめとする4中学校区で地域

づくり推進会議を設置し、地域づくりの取組を進めてきた。モデル地区で計画策定後の取組を進めている中で、様々な課題が出てきている。現在は地域づくり推進会議メンバーや大学の先生、地域づくりに関連の強い庁内管理職による懇談会を設置し、改定に向けた議論を進めている。懇談会には南大沢推進会議メンバーの代表かつ民生委員の立場で吉村氏に参加いただいている。

- ・「地域づくりフォーラム」の動画は、ホームページへの掲載を予定している。懇談会については、第1回の議事内容をすでにホームページに掲載しているので、適宜、ご覧いただきたい。

(参加者からのコメント)

- ・地域づくりフォーラムに参加して、推進会議がどのような背景で動き始めたかを知ることができた。また、既存の団体が緩くつながり活動するという方針で推進会議での議論を進めているが、モデル地区でも取組状況を聞くとやはり難しく、やり方は手探りだと感じた。進め方がトップダウンではなく、地域ごとに動いているので、進め方の指標がないところが特に難しいということ再認識した。(飯田氏)
- ・地域づくりフォーラムの登壇前に推進会議メンバーからこれまでの情報を教えていただき、南大沢の良さや推進会議での取組内容を紹介した。フォーラムに関しては、色々な資料をもらい、推進会議の全体像を理解することができた。推進会議を続ける中で、イベントを実施して終わりなのではなく、2040年までつながるような会議だということ認識した。フォーラムに参加された都立大学の杉先生から、課題解決から入るのではなく、推進会議メンバー自身が楽しくできることを一番大切にすべきだという話があり、共感した。楽しくできる会議であれば、長く続けることができると思う。また、2年前に策定された「地域づくり推進基本方針」を改定するための懇談会に南大沢中学校区の代表として、また福祉関係の意見を欲しいということで民生委員として参加している。推進会議等の活動を通じて、皆さんからいただいた意見を懇談会の中で伝え、反映できればと思う。(吉村氏)

### 3 地域ワークショップの振り返り

資料2とアンケート集計結果を基に、地域ワークショップの振り返りと、推進計画への反映の方向性の説明を行った。

(追加意見)

- ・事前ワークをする中で、「だれもが認め合い集えるやさしいまち アットホームマイタウン南大沢ー緑豊かなスマート・コンパクトタウン」という将来ビジョンを考えた。今までの将来ビジョンは、人と人の係わりを表現している良いキャッチフレーズだと思ったが、南大沢らしさがないように思った。先日のワークショップで中学生の参加者から「自然が大好きなので、緑を残してほしい」と言われた。また、東京都職員からスマートシティの説明があった。参加者からは便利な施設や自然がコンパクトにまとまっていて良いという意見もあったので、スマート・コンパクトというキーワードを今までの将来ビジョンに組み込んで作ってみた。あくまで一つの提案であるが、今回の推進会議で確定できればと思う。
  - ⇒ “タウン”という言葉が2回出てくるので、サブタイトルを「ー緑豊かなスマート・コンパクトー」にしてはどうか。
  - ⇒ スマート・コンパクトがタウンを説明する言葉であるため、“タウン”をなくしてしまうと文章の意味が通じなくなると思う。(参加者)
  - ⇒ 今の将来ビジョンは少し長いように思う。覚えにくいかもしれない。
  - ⇒ カタカナが入っているのが、南大沢らしいかもしれない。
  - ⇒ カタカナが入っていることで内容が伝わりにくくなるかもしれない。
  - ⇒ 学校の生徒も多国籍なので、アットホームマイタウンはあった方がいいと思う。
  - ⇒ アットホームマイタウン南大沢が1行目、2行目は認め合い集える緑豊かなスマート・コンパクトはどうか。
  - ⇒ 将来ビジョンは理念なのか、キャッチフレーズなのか。将来ビジョンを誰に見せて、誰に伝えるためのものなのかがわからないから、まとまらないのかもしれない。スマートという言葉はプラス、マイナスの2

面の意味があると思う。将来ビジョンに含まれるそれぞれの言葉の意味を整理した方が良い。(第一層生活支援コーディネーター)

⇒将来ビジョンは、今後地域のことを考えていく際の目標であり、皆さんの共通理解のために掲げるものである。推進会議メンバーはもちろんだが、住民の皆さんに推進会議がこのような地域を目指して活動しているということ伝えていきたい。思いを詰め込みすぎると他の人に伝わりにくいかも。(市)

⇒アットホームマイタウンという言葉も、今の時代に合っているのか。将来ビジョンとして適切なのか。まちとしてのイメージを表現できる言葉が良い。

⇒2040年に向けたビジョンとしての位置づけであり、様々な活動を進める中でどのように進めたら良いか悩んだときに、戻ってこられる拠り所となる言葉であると思う。

- ・今挙がっている代表的な言葉で、どのような思いが込められているか整理したいと思う。覚えやすく、今後活動を進める中でよりどころになるような将来ビジョンに出来たらと思う。(エックス都市研究所)
- ・第3回に向けた事前ワークで、皆さんのご意見を踏まえた事務局案を提示するので、検討をお願いしたい。(エックス都市研究所)

#### 4 議題「推進計画の検討」

会議資料、資料3を基に地域づくり推進計画の構成について参加者と確認し、グループワークの説明をした。

(検討結果)

- ・推進計画の構成は、会議資料の事務局案の内容で参加者の合意を得た。
- ・アクションプランについては、アクションプランの柱を示すのみにとどめ、取組に関する具体的な内容はプロジェクトPRシートとして別冊にまとめることで、参加者の合意を得た。

資料4「プロジェクトPRシート」を参考に、アクションプランについて、「地域をつなぐイベント」「憩いの場づくり」と「地域情報ポータル」の3つのグループで検討を行った。検討結果は、以下のとおり。

(検討結果)

##### (1) <地域をつなぐイベント>

- ・南大沢総合文化祭は目的ではなく、手段だと思う。  
⇒年間を通じてイベント同士をつなぐイメージ。スタンプラリーにすると良いのでは。  
⇒地域で実施されているイベントをつなげるだけでなく、それぞれの取組が一度に披露できる場があると良い。  
⇒新しいイベントを企画するのは難しいが、既存のイベントはたくさんある。新しいイベントを追加するのではなく、既存のイベントをリンクさせることで実施しやすくなる。
- ・既存の様々なイベントが実施されているが、周知されていない。情報共有の方法は情報ポータルグループと連携していく必要がある。
- ・地域活動の情報収集や団体への呼びかけを行い、既存団体が連携してできる範囲でイベントを実施し、最終的には各団体が一堂に会するイベントを実施するというように段階を踏んで進めていければと思う。
- ・前回の推進会議で南大沢小学校、柏木小学校をまわり、最終的に南大沢中学校で各団体の取組を披露するイベントができると良いという話があった。スタンプラリーだと色々なイベントをつなぐことができると良い。
- ・ワークショップに参加した中学生が、学校の音楽祭はやりたくないと言っていた。理由としては、先生たちに言われたイベントをやらされるのではなく、自分たちで考えて文化祭などのイベントをやりたいとのことだった。子どもたちが考えてイベントができる場になると良い。
- ・文化祭だけでなく、地域の運動会があると良い。大人から子どもまで盛り上がると思う。
- ・都立大学の学園祭の開催日に合わせて、大平公園まで歩いて行けるイベントができると良いという意見が前回出ていた。イベントの開催日を合わせて、一緒に実施できると良い。
- ・以前、八王子市主催で南大沢の地名や植物をクイズした「公園&まちクエスト ウォークラリー」を実施し

たことがある。

⇒南大沢で植物などをクイズ形式にしたツアーイベントも併せて実施できると良い。

- ・1週間を通じてイベントを開催できると、イベント同士もつながることができると思う。南大沢 week として実施できると良い。スタンプラリーやラジオ体操も連携してできると面白い。

⇒ラジオ体操は騒音問題になるため、住宅地の近くで実施するのは難しい。

⇒ラジオ体操で横つなぎをできると面白い。ラジオがあれば実施できるため、ツールとしては簡単で良いと思う。

- ・イベントを見える化することで、横つなぎ出来るかもしれない。
- ・地域施設の職員も気軽にイベントへ参加できると良い。
- ・高齢者あんしん相談センター、保健福祉センターとコラボレーションしたイベントができると良い。
- ・推進会議メンバーという肩書きを地域のイベントに参加する際に使って良いか、市に考えてほしい。
- ・団地ではなく地域の掲示板や駅前の掲示板が欲しい。団地の掲示板では情報の周知が難しい。  
⇒各団地の表示板の横に“イベントお知らせコーナー”を作れると良い。

## (2) <憩いの場づくり>

### (居場所 MAP)

- ・居場所 MAP づくりは地域カルテの改定で良いのではないかな。
- ・地域カルテの内容について、ハード（利用可能時間、連絡先等の情報）の記載はあるが、使っている様子や運営者が判るような写真の掲載など、人に関する情報が掲載されていると利用しやすくなる。
- ・HP 上に掲載している地域カルテは改定できると思う。また誰がやるのか。他にも時間的・費用的な問題もある。すでに作成時から更新されている情報もあるので、今後も定期的なメンテナンスが必要。
- ・改定にあたっては既存施設にも掲載内容の確認が必要になる。
- ・若年層はネットで見られるので、紙での配布は必要ないのではないかな。そのためにもメンテナンスをしっかり行うべき。
- ・ネットは自分で情報を取りに行くが、紙だと必要としている以外の情報も手に入って便利である。
- ・増刷はモノクロ印刷でも良いのではないかな。  
⇒町会によっては地域カルテを町会費で印刷し、全戸配布したところもある。
- ・将来ビジョンのキーワードとして提案した「スマート」という言葉に込めた意味を伝えられると良い。
- ・子育て世代など必要な世代に必要な情報を届けるためには、紙ではなくデジタルだと思う。  
⇒世代によってはデジタルで情報を得るのが難しいので、紙は絶対に必要。そういったことが「やさしいまち」につながる。
- ・高齢者は子どもとのつながりが欲しいと思っている。
- ・地域カルテの全面改定ではなく、居場所 MAP の改訂だけなら低予算でできるのではないかな。
- ・年代別（乳幼児、小学生など）に利用施設の検索ができるようにしても良いのではないかな。

### (新たな居場所づくり)

- ・公園、市民センター、学校などの公共施設の活用を進めたい。
- ・公園は沢山あるのに、ボール遊びができる公園は、ごく一部に限られている。  
⇒最初から制限があるわけではなく、地域住民から苦情がでてくると、管理者としてはどうしても利用を制限せざるを得ない状況になる。
- ・利用者が中心となって地域もまきこんでルールづくりを行うようなことがあっても良いと思う。  
⇒実際、そのような取組をおこなっている地域もある。
- ・生涯学習センターなどは団体登録が必要、かつ有料のため利用のハードルが高い。学校の空き教室が開放されると子どもたちが利用しやすくなるのではないかな。
- ・学校側の負担軽減のために、地域に詳しい市民が窓口となってはどうか。  
⇒公園などに利用制限ができた原因には一部住人の問題などもあるので、地域をより理解している住民が窓口になることで色々とスムーズに進められるのではないかな。

### (3) <情報ポータル>

- ・誰と、どんな企業とつながるのが良いのか(利害関係者＝ステークホルダー)の可視化が必要になると思う。
- ・情報発信したくなる人(インフルエンサー)を集める等の仕組みづくりの構築も必要になる。
- ・運営には人材だけでなくお金も必要であるため、仕組みだけでなく活動に賛同してくれる企業の協力を得ることが必要。
- ・地域に情報プラットフォームを作れる人材がない場合、人材育成も必要になる。
- ・ボランティアの無償、有償の線引きはした方が良いのではないかと。  
⇒ポータルサイト内で協力者を募集する際に、応募者が報酬の有無を選択できるプラットフォームにしておくのはどうか。  
⇒報酬は金銭以外のものが良いのではないかと。例えば、Webサイトの作成方法が学べる等。但し、Webサイト作成の技術提供を行う側は有償にする。  
⇒金銭が発生しないと続かないものもあると思う。すべてがボランティアでは続かない。
- ・大義名分がはっきりしていれば、人は集まりやすいと思う。
- ・現在検討を深めるアクションとして記載している「利害関係者とつながる」ことは、現在の将来ビジョンからは読み取れない。  
⇒将来ビジョンの方向性は定まっているので、あとは言語化できれば良い。  
⇒「スマートシティ」は必ず入れるべき言葉だと思う。  
⇒将来ビジョンは柔軟性が持てる文言でも良いのではないかと。
- ・子ども達のためにお金を集め、分配する仕組みができれば良いと思う。
- ・「インフルエンサーの育成」という言葉が出ているが、情報発信に限らずに人材育成が必要だと思うので「能動的な人の育成」とした方が良い。
- ・「桑都ペイ」は地域活動に活用できるのか。  
⇒担当部署に確認をする。(市)
- ・PRシートのねらいに「積極参加」という文言が入るのは、印象に残って良いと思う。

### (話し合いの内容の共有・意見交換)

#### (1) <地域をつなぐイベント>

- ・総合文化祭としていたが、1~2日で終わってしまうイメージなので、「南大沢 week」として開催したい。平日で各イベントを実施し、土日で一体なイベントが実施できると良いと思う。新しいイベントを企画するのではなく、既存のイベントを横つなぎしたい。第一段階として地域活動の情報収集・団体へのアプローチをする。まずは、それぞれのイベントを周知することが重要。第二段階として、都立大学も含め、それぞれのイベントが連携できるかを調整する。第三段階は1週間程度で日々の活動の発表の場を作りたい。また、スタンプラリーでイベントを回り、最終的にすべてのイベントを回った人には表彰状を出すなどできればと思う。市民センターと連携したイベントや、南大沢の植物を見て回るツアーもできると良い。また、文化的なことだけでなくスポーツイベントもやりたいと思っている。子どもたちには学校とは違った自分たちで考える発表の場を作れると良い。駅前掲示板ができればイベントの周知ができると思う。既存の団体の活動だけでなく、面白そうだと感じた方にも参加してほしい。

#### (2) <憩いの場づくり>

- ・2つを柱として考えた。1つ目は「居場所MAPの更新」である。前回は居場所MAP“づくり”としたが地域カルテがあるため、地域カルテを活用し新規追加や削除など情報を更新するのが第一歩として良いのではないかと話になった。子育て世代、高齢者など居場所を必要としている人、居場所づくりに感心がある人へ必要な情報を届けるのがねらい。MAPの媒体について、地域カルテは紙だったが、若い世代の情報源はデジタルであり、紙だと更新もしづらい。デジタルは更新しやすいが、誰がつくるのかといった人材集めが懸念事項である。理想は紙とデジタルの両方での発行だが、まずは地域カルテのMAPの更新版を定期的に紙で作

成できると良い。現在の地域カルテの内容に、その場所にどんな人がいるのかなど“人”に関する情報も掲載したいと思っている。2つ目は「公共的な場所の意見交換の場づくり」についてである。南大沢は子どもの数が減少し学校の空き教室が増えており、公園や市民センターなど公共的な場所が活用されていないのが課題になっている。学校は安全の理由から外部が入ることに対してハードルが高く、市民センターは利用するために団体登録が必要だったりする。また、公園はボール遊びができないなど子どもたちにとって制限が多く、居場所として気軽に活用できる場がない。管理者、管理団体、学校などとそういった場所を活用したい地域住人で議論を交わし、居場所づくりをしていける検討の場ができると良いと思う。

### (3) <情報ポータル>

- ・情報通信プラットフォームを活用したまちづくりについて議論した。タイトルの「南大沢地域プラットフォームの構築」、ねらいの「地域の人が積極参加し、地域住人が街興し出来るプラットフォーム構築」は前回も議論したが、今回活動を支援出来る仕組みづくりをプラットフォーム内で形成していきたいという話が出た。イメージとしてプラットフォームの目的は、大学生が参加したくなるようなもの、ゆるくつながるのがプラットフォームの一番の目的となる。中に組み込みたい要素として、能動的に発信してくれる人材の育成、企業とのつながりをつくること、お金を集める仕組みをつくり、将来的に子どもに分配させたいという意見が出た。このような要素を組み込んだものをプラットフォームとして立ち上げていきたい。そして、参加者を募集するうえで有償、無償をわけて、サイト内でわかりやすくしたいなどサイトの中身の話もした。地域住民が積極的に参加できるようなプラットフォームにするため、参加した学生等へ金銭以外の報酬で還元したいと考えている。金銭以外とは、地域ポイントなどを想定している。また、サイト内でブログを構築し、そこに学生などが、自分たちが見てきた南大沢の良いところを掲載し、閲覧数やPV（ページビュー）数に応じてポイントを還元していくという仕組みを構築できたら良いと思う。それによって、サイトが毎日更新されるという望ましい状態となる。サイトマップやハザードマップも同サイト内でまとめて管理できたら良いと思う。運用はサイト、LINE、インスタグラムなど色々なツールがあるので、こういったものにしていくかの議論は引き続き必要になる。

## 5 議題「思いのページ」について

会議資料をもとに、参加者の“思いのページ”について検討した。検討結果は、以下のとおり。

### (検討結果)

- ・思いのページは掲載することで良い。掲載する内容は、1人ずつ顔写真と一言コメント程度が良い。  
⇒写真を載せたくない人は申し出てほしい。(エックス都市研究所)
- ・思いのページの作成については、福澤氏が担当。一言コメント以外の掲載内容についても参加者有志で検討し、提案する。  
⇒提案内容は事務局から参加者に共有し、意見をもらうようにする。(市)

### (その他の意見)

- ・計画書は誰がどのように手に取るのか。  
⇒配布、発信方法については計画策定後、皆さんに相談させていただく。(市)

## 6 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・9/16(土)に南大沢町会主催で「LinNa ガーデンシアター」開催する。雨天時も室内で開催する予定でいる。町会活動を紹介するとともに、八王子ショートフィルム映画祭の入選作品を上映する。ぜひお越しいただきたい。
- ・9/30(土)10/1(日)に「南大沢市民センターまつり」を開催するので是非お越しいただきたい。
- ・毎週金曜日「スマートフォンに関する相談および交流の場」というスマホの相談会を都民ハイム南大沢東にて開催している。現在は相談会メインだが、今後は交流を図るためのプログラムとして、アプリを活用した

ゲームなども実施予定なので、交流の場としても活用して欲しい。(高齢者あんしん相談センター南大沢)

## 7 閉会

次回の第3回推進会議の日程確認を行った。

- ・令和5年(2023年)11月11日(土)9時半~12時、場所は南大沢中学校3階家庭科室で開催する。

以上

ワークシート プロジェクトPRシートを作成しよう

グループ	地域をつなぐ イベント	メンバー ☆:リーダー	☆青少対 田中茂	吉村	加笠	学運協 高津
------	----------------	----------------	-------------	----	----	-----------

検討を深めるアクション:

タイトル	南大沢Week
------	---------

ねらい	既存のイベントを つなぐ	通年化 1年↑	色々なイベントを知る
-----	-----------------	------------	------------

イメージ	STEP1 地域活動の情報収集・団体へのアプローチ	☆取組イメージ☆	市民センター まつりとの コラボ	スタンプラリー を軸に	
	STEP2 団体連携イベントの試行的開催 <b>大学と連携</b>		植物 めぐり ツアー ウォークラリー		
イベント 見える化	STEP3 南大沢Weekの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化</li> <li>・スポーツ（ブロック別）</li> <li>・祭典 <b>多世代</b></li> </ul>	中学生 活躍の場	中学生の 文化祭 の場に	<b>運動会</b> でも良い？ 高齢者
			情報発信 → グループ におねがい	駅前 掲示板 活用	ラジオ体操の 横つなぎ

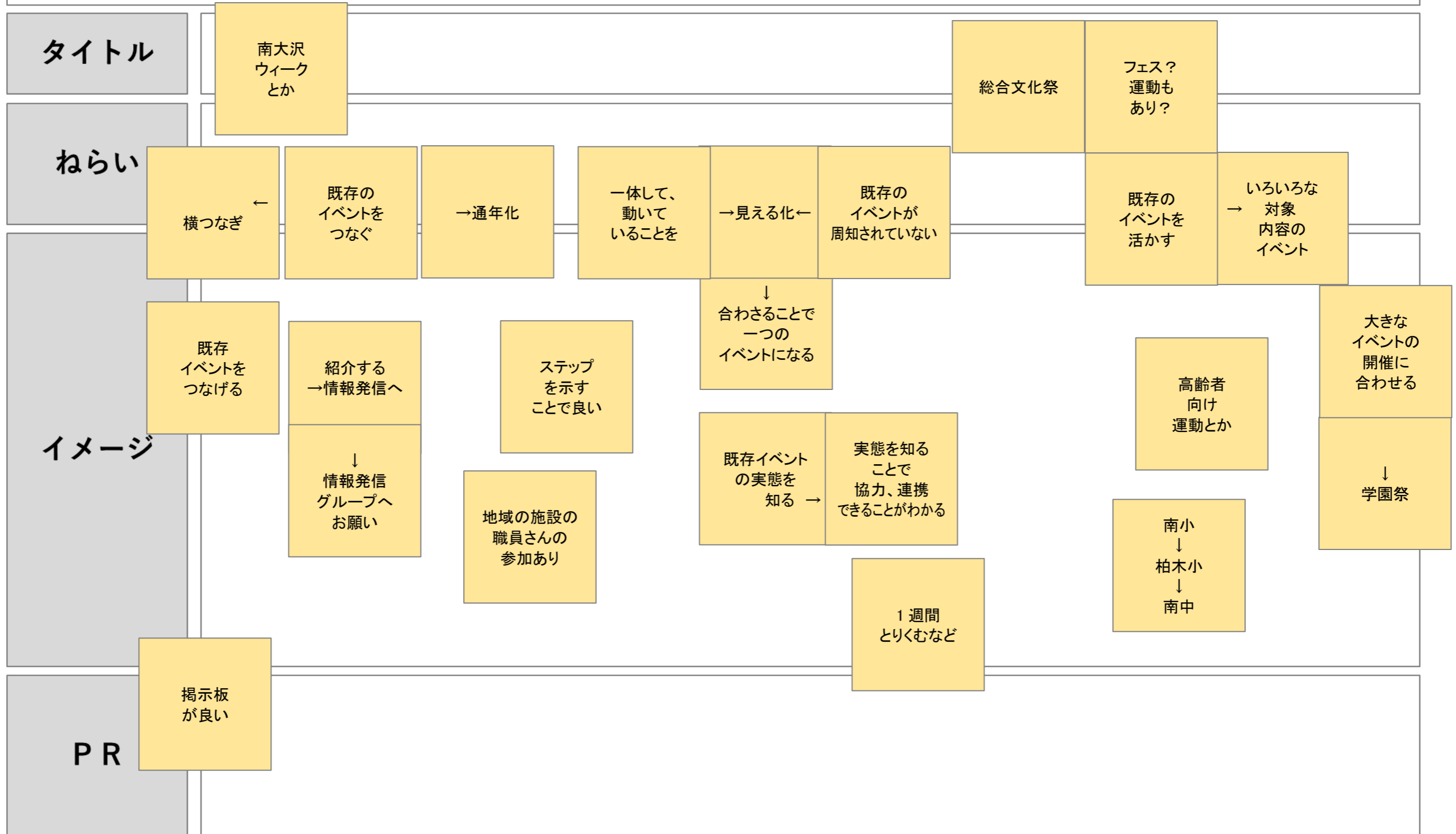
PR	<p>経験がなくても面白そうと思ったら大歓迎 一緒に楽しいイベント作りをしたい団体、個人を探しています</p>
----	---



ワークシート プロジェクトPRシートを作成しよう

グループ	地域をつなぐ イベント	メンバー ☆:リーダー	☆青少対 田中茂	吉村	加笠	学運協 高津
------	----------------	----------------	-------------	----	----	-----------

検討を深めるアクション:



ワークシート プロジェクトPRシートを作成しよう

グループ	<b>憩いの場 づくり</b>	メンバー ☆:リーダー	☆久保田さん	田中さん	廣田さん	木村さん
------	---------------------	----------------	--------	------	------	------

検討を深めるアクション：

タイトル	居場所 MAP	<b>居場所マップの更新（カルテの活用）</b>
ねらい		<b>必要としている人に届ける</b>

イメージ	①情報更新								
	地域カルテ 改訂版 をつくる	Dateあり	居場所 MAP のみ 改訂版	年代別 ・小さな子ども ・小学生 ・高齢者	2局化 30代以下は デジタル	紙も あると良い ↓ モノクロ版 でもOK	インターネットで 探索できる ように		
	人がいる ↓ のが見えない 写真	全部いるか？ 人がつながる	公園・・・使い方が かわる・・・		大人 子どもと つながりたい			予算か・・・？ 情報が古い・・・	

PR	スキルの ある人	情報発信 ポータルG?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信ポータル等つくれる人</li> <li>・ 居場所のサポーターになってくれる人</li> </ul>
----	-------------	----------------	---

ワークシート プロジェクトPRシートを作成しよう

グループ	憩いの場 づくり	メンバー ☆:リーダー	☆久保田さん	田中さん	廣田さん	木村さん
------	-------------	----------------	--------	------	------	------

検討を深めるアクション:

タイトル	公共的な場所の意見交換の場づくり
------	------------------

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用できる場を有効に活用できるようにする</li> </ul>
-----	--

イメージ	<p>まずは…</p> <p>窓口となる協議会</p> <p>学校から ↓</p> <p>公共施設 公園へ</p> <p>自分達で ルールを 作ろう!!</p> <p>屋根がある 場所が 欲しい</p> <p>学校空スペース →学校がOKなら</p> <p>校長先生</p> <p>生涯学習センター</p> <p>団体登録 必須</p>
------	--

PR	<p>(検討中) . . .</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者、管理団体、学校</li> <li>その場所をつかいたい人</li> </ul>
----	---

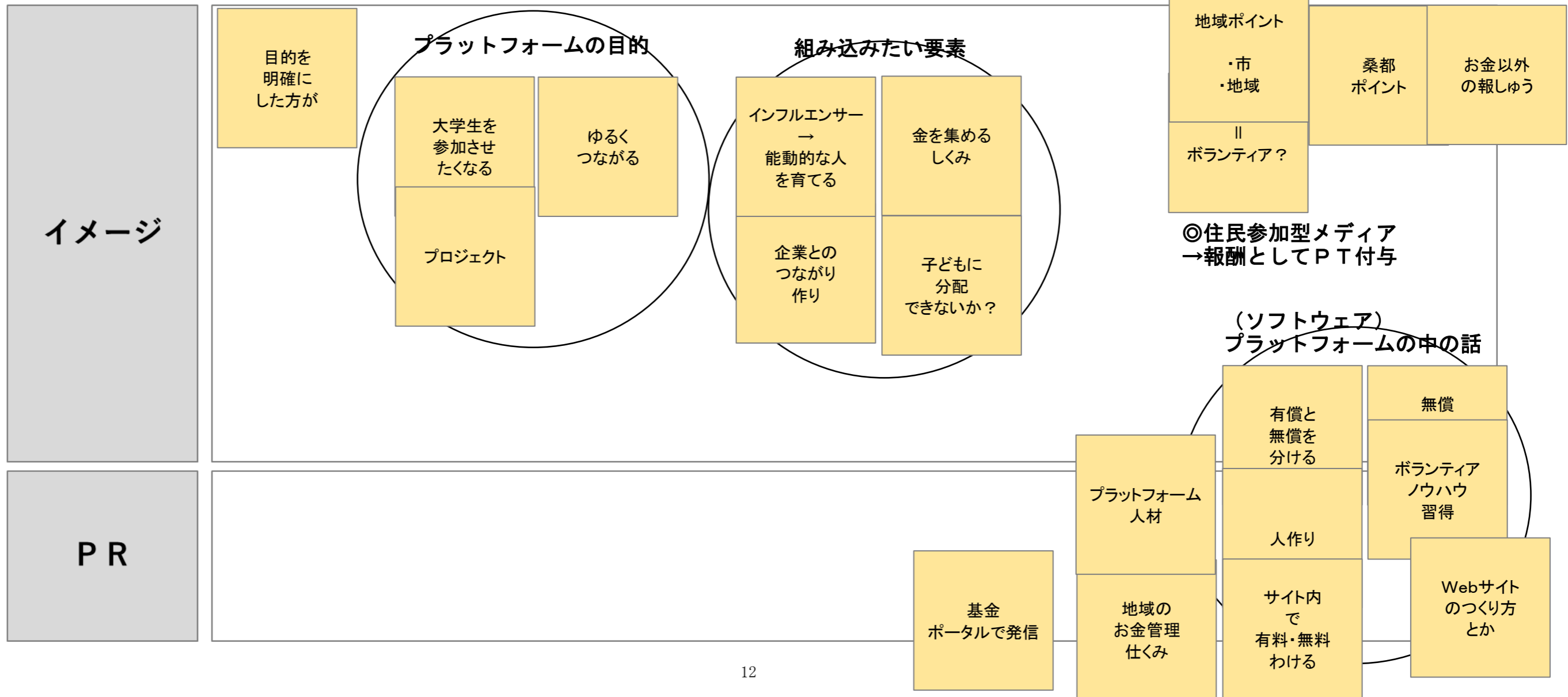
ワークシート プロジェクトPRシートを作成しよう

グループ	情報ポータル	メンバー ☆:リーダー	☆柿島、飯田、福澤、廣瀬、磯田、竹田
------	--------	----------------	--------------------

検討を深めるアクション：

タイトル	南大沢地域プラットフォームの構築
------	------------------

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人々が積極参加し、地域住人が街興し出来るプラットフォーム構築</li> <li>・ 上記活動を支援出来る仕組みづくり</li> </ul>
-----	---



将来ビジョン

② 誰もが認め合い集えるやさしいまち  
(A)

カタカナは  
適切か？

① アットホームマイタウン南大沢

ここは早くから意見が出ていた

何か対象となる  
言葉はあるか

ー 緑豊かなスマート・コンパクトタウン (B)

→とってはどうか？

思いは

・理念か ・まちのイメージか ・メッセージか

→ 2040 のビジョン ← 活動の拠所になる言葉

事務局で一旦持ちかえり

⇒案を示しつつ、事前ワークで検討

個人で無理のない範囲で

写真 イラスト . . .

ページ数は？

「代表」はハードルが高い

⇒個人で一言

写真 (NG の場合はイラストなど)

デザイン ⇒ リーダー 福澤さん